

丸田ストアに突き出し看板があったなんて！問題は、この突き出し看板にいったい何が書かれていたのか？ということだ。正面にある箱文字に加え、側面から見てもわかるように、「丸田ストア」と書かれていたのか。はたまた「ヤマザキパン」とか「ニッポンハム」といった、当時入居していた商店が扱っていた商品の広告のようなものだったのか。



武蔵野市境南町の「野ロストア」／武蔵野市の境の石井精肉店さんの「ニッポンハム」／三鷹市大沢のマッシュさんの「第一パン」

いろいろ想像を巡らせている時、なんと一枚の古い写真をスプンフルの麻衣さんが見せてくれた。それは、丸田ストアのご近所にお住まいの方が撮影された写真。その背景に丸田ストアが写り込んでいるというので、麻衣さんに見せに来てくださったそうだ。その写真には、なんと「1984年7月」と撮影日が焼き付けられていた。36年前の丸田ストアは、正面の幌の色が違っていた！外壁は、まだ今の白の塗装をする前なので、今よりもむしろ古く見える。そして、正面の箱文字の伸ばし棒は、やはり今のままだ。現在スプンフルさんのあるあたりに注目すると、宅急便をはじめさまざまな看板が乱立している！すごい情報量。



36年前の！

そして、その頭上には！やっぱりあった、突き出し看板！！しかし残念ながら、その看板に何が書かれているのかは判別できず・・・こうしてみると、やはり正面の箱文字看板が平然と残り続けていることのすごさを改めて感じることになる。さらに、この写真、よくよく見てみると、建物の脇にちらりと見えるのは、「電話ボックス」ではないか！やはり、前回のコラムで取り上げた「妖精」の示す通り、ここには電話ボックスがあったのだ。

偶然、写真の背景に写り込んだ丸田ストアー。不思議なことに、大家さんに聞いても、不動産屋さんに聞いても、かつて入居されていた方に聞いても、丸田ストアーの建物そのものを写した古い写真は、今のところ一枚も見つかっていない。

現代のように、日常的に身近な風景を撮影できるスマホなどが普及していない時代。丸田ストアーは、きっと町の中の風景として、日常の背景として、特別に切り取られることもなく、当たり前ここにあったのだろう。でも、もし古い丸田ストアーの写真をお持ちの方がいらっしゃったら、教えてください。突き出し看板にいったい何が書かれていたのが気になって、夜も眠れないです。

(文・丸田ストアー2階とをが渡邊)

お酒飲んだらすぐ寝ちゃり感じですよ
キヨロキヨロしゅつ、

